

日本語能力試験N1対策

担当教員 蔣

修正日：2020.7.1

履修単位数：2

6月8日以降 AM:9:30~/PM:13:30~

授業スケジュール/計画

			AM	PM
1	5月14日	木		N1対策 (ZOOM)
2	5月16日	土	N1対策 (ZOOM)	
3	5月18日	月	N1対策 (ZOOM)	
4	5月21日	木		N1対策 (ZOOM)
5	5月25日	月	N1対策 (ZOOM)	
6	5月27日	水	N1対策 (ZOOM)	
7	5月28日	木		N1対策 (ZOOM)
8	5月30日	土	N1対策 (ZOOM)	
9	6月4日	木		N1対策 (ZOOM)
10	6月5日	金		N1対策 (ZOOM)
11	6月6日	土	N1対策 (ZOOM)	
12	6月15日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
13	6月20日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
14	6月22日	月	N1対策 (対面+ZOOM)	
15	6月27日	土	N1対策 (対面+ZOOM)	
16	6月29日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
17	7月6日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
18	7月13日	月	N1対策 (対面+ZOOM) 701	
19	7月25日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~302)	
20	8月1日	土	N1対策 (対面+ZOOM) (9時~402)	
21	8月10日	月	N1対策 (対面+ZOOM3) 701 (8月8日補講のため)	

学習目標

日本語能力試験を合格すること

予習・準備物

筆記用具

注意事項

取り組み姿勢による採点

評価方法

自主性を伴った授業出席で評価します。

写真と撮影

担当教員 藤谷勝志

受講アトリエ【 】 修得単位：1単位

2020/7/20(月)-2020/9/14(月)

13:30-16:30

授業内容

カメラの種類、カメラの基本的構造、レンズの種類、特性を知ってもらいその使い方を理解していただきます。

iPhoneはなぜ押すだけで写真が撮れるのか、オート撮影とマニュアル撮影の違い、そして使い方をカメラを手にして教えます。

カメラ操作が理解できたら写真を撮る上で最も大切な「光」について説明します。

実際に外での撮影と代々木にある僕のスタジオで撮影実習を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	7月20日	月		映像制作1A	○	オリエンテーション	
2	7月27日	月		映像制作1A	○	制作指導	
3	8月3日	月		映像制作1A	○	制作指導	
4	8月10日	月		映像制作1A	○	制作指導	
5	9月7日	月		映像制作1A	○	制作指導	
6	9月14日	月		映像制作1A	○	講評	

学習目標

デジタル一眼レフカメラをオート撮影だけでなく、マニュアル撮影でも使えるようにします。

JPEGとTIFFの違い、RAWデータについて理解してもらいます。

聞き慣れない言葉が多いかと思いますが、最後は写真の面白さを知り、写真好きにします。

予習・準備物

注意事項

評価方法

提出課題による採点

映像制作1 A

担当教員 奥牧裕介

受講アトリエ [402] 修得単位：1単位

2020/6/8(月)-2020/9/28(月)

9：30-12：40 13：30 -16：30

授業内容

デジタル技法を用いた映像制作の基本・課題制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1			○	リモート授業 (Premiere 実習 素材準備)			自宅課題
2			○	リモート授業 (Premiere 実習 素材準備)			自宅課題
3			○	リモート授業 (Premiere 実習 素材準備)			自宅課題
4	6月8日	月	○	オリエンテーション・After Effects 実習		制作	
5	6月11日	木		制作		コミック表現	
6	6月15日	月	○	カメラ、機材の使い方		制作	課題提出あり
7	6月18日	木		制作		コミック表現	
8	6月22日	月	○	ブルーバック撮影・合成 (After Effects 実習)		制作	課題提出あり
9	6月25日	木		制作		コミック表現	
10	6月29日	月	○	暗幕撮影		制作	
11	7月2日	木		制作		コミック表現	
12	7月6日	月	○	After Effects 実習		制作	課題提出あり
13	7月9日	木		制作		コミック表現	
14	7月13日	月	○	Premiere 実習 コミック映像化 (編集)		制作	
15	7月16日	木		制作		コミック表現	
16	7月20日	月	○	Premiere 実習 コミック映像化 (編集)		写真と撮影	
17	7月23日	木		制作		コミック表現	
18	7月27日	月	○	3DCG実習 モデリング (頭蓋骨・顔)		写真と撮影	課題提出あり
19	7月30日	木		制作		コミック表現	
20	8月3日	月	○	3DCG実習 簡易アニメーション (惑星・眼球とハエ)		写真と撮影	課題提出あり
21	8月4日	火		制作		メディアブランディング実習	
22	8月6日	木		制作		コミック表現	
23	8月10日	月	○	3DCG実習 ボーンによるアニメーション (歩行)		描写イラストB	課題提出あり
24	8月11日	火		制作		メディアブランディング実習	
25	8月13日	木		制作		コミック表現	
26	9月3日	木		制作		コミック表現	
27	9月7日	月	○	3DCG実習 IKを使ったアニメーション (階段を上る)		写真と撮影	課題提出あり
28	9月10日	木		制作		コミック表現	
29	9月12日	土		フランス語		制作	
30	9月14日	月	○	3DCG実習 テクスチャ・ライティング (森の制作)		写真と撮影	課題提出あり
31	9月17日	木		制作		コミック表現	
32	9月24日	木		制作		コミック表現	
33	9月25日	金		制作		描写イラストB	
34	9月28日	月	○	講評		実技カリキュラム	課題提出あり

学習目標

Adobe CC(クリエイティブクラウド)など、映像制作に関連したソフトの演習。

カメラや照明などの撮影機材やエフェクトを使用した映像制作方法の理解。3DCGによる映像制作方法の紹介。

予習・準備物

筆記用具・データを保存できるメディア・好きな漫画

注意事項

授業スケジュールは、進み具合により前後します。

評価方法

授業態度および提出課題による採点。（授業態度50% 課題50%）

アニメーション&サウンド

担当教員 松本 力、本多裕史

受講アトリエ【402】 修得単位：1単位

2020/6/9(火)-2020/7/28(火)

9：30-12：40

授業内容

映像表現は、自分の時間＝記憶にかたちをあたえます。ストップモーション・アニメーションの技法と、時間芸術としての音楽の作曲で、生きる目的（意味）と想像力（意志）と批評性（意図）をもって、心象をあらわす生き活きとしたフォルムを探る、映像と音楽の魅力を追求めます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月9日	火	○	オリエンテーション		メディアブランディング実習	松本・本多
2	6月16日	火	○	アニメーション		メディアブランディング実習	松本
3	6月23日	火	○	音楽		メディアブランディング実習	本多
4	6月30日	火	○	アニメーション		メディアブランディング実習	松本
5	7月7日	火	○	音楽		メディアブランディング実習	本多
6	7月14日	火	○	アニメーション		メディアブランディング実習	松本
7	7月21日	火	○	音楽		メディアブランディング実習	本多
8	7月28日	火	○	講評		メディアブランディング実習	松本・本多

学習目標

アニメーションのためのドローイングを描き、ガレージバンドなどのアプリケーションを用いて、独自の観点での映像と音楽の小作品を制作する。

予習・準備物

筆記用具一式（4B、6Bなどの濃い鉛筆や水彩などの画材を用意する）ヘッドホンまたはイヤホン（音楽の授業で使用）

注意事項

映像及びアニメーション制作は、地道な作業工程を踏まえて得られる楽しみがあるので、根気よくこだわりを持って実習に臨み、授業以外でも日常的に、映像や音楽の素材づくりに取り組んでください。

評価方法

提出課題による採点

メディア・ブランディング基礎

担当教員 佐藤芽生

受講アトリエ [] 修得単位：2単位

2020/6/9(火)-2020/9/29 (火)

13：30-16：30

授業内容

メディアの性質を学び、思考を制作物に落とし込むワークを行います。
また、他者との対話を通じて集客課題に取り組みます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業	メール授業
2	6月9日	火		専攻別授業	○	オリエンテーション①(想定課題)	
3	6月16日	火		専攻別授業	○	企画/プレゼン演習	
4	6月23日	火		専攻別授業	○	ラフ制作	
5	6月30日	火		専攻別授業	○	制作	
6	7月7日	火		専攻別授業	○	制作/プレゼン準備	
7	7月14日	火		専攻別授業	○	講評①	
8	7月21日	火		専攻別授業	○	オリエンテーション②(グループ制作)	
9	7月28日	火		専攻別授業	○	企画	
10	8月4日	火		専攻別授業	○	企画	
11	8月11日	火		専攻別授業	○	ラフ制作	
12	9月1日	火		専攻別授業	○	制作	
13	9月8日	火		専攻別授業	○	制作/プレゼン準備	
14	9月15日	火		専攻別授業	○	制作/プレゼン準備	
15	9月29日	火		専攻別授業	○	講評②(ふりかえり)	

学習目標

メディアとはなにかを『知り』、『考え』、『アウトプットする』の工程を繰り返し経験し、クリエイティブに向かう基本姿勢を身につけることを目指します。

予習・準備物

注意事項

授業のスケジュールは進行具合で調整します。

評価方法

課題制作80% プレゼン20%

色彩論Ⅱ

担当教員 初谷希代香

受講アトリエ 【501】 修得単位：1単位

2020/6/10(水)-2020/9/23(水)

11:10-12:40

授業内容

色の効果を活用した作品の制作（コンクール応募作品含む）

A F T色彩検定2級・UC（色のユニバーサルデザイン）級対応。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1			○	YouTube ご挨拶・カラーイメージと配色1（課題①）		実技カリキュラム	
2			○	YouTube カラーイメージと配色2（課題②）		実技カリキュラム	
3	6月10日	水	○	課題①、②制作		実技カリキュラム	
4	6月17日	水	○	課題①、②制作		実技カリキュラム	
5	6月24日	水	○	課題①、②制作		実技カリキュラム	
6	7月1日	水	○	配色技法について（課題③）		実技カリキュラム	
7	7月8日	水	○	課題③制作		実技カリキュラム	
8	7月15日	水	○	色の表示：色名・マンセル表色系（課題④）		実技カリキュラム	
9	7月22日	水	○	課題④制作		実技カリキュラム	
10	7月29日	水	○	課題④制作		実技カリキュラム	
11	8月5日	水	○	UC（色のユニバーサルデザインについて）（課題⑤）		実技カリキュラム	
12	8月12日	水	○	課題制作⑤		実技カリキュラム	
13	9月2日	水	○	コンクール作品説明と制作		実技カリキュラム	
14	9月9日	水	○	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		実技カリキュラム	
15	9月16日	水	○	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		実技カリキュラム	
16	9月23日	水	○	コンクール作品制作、色彩検定質問対応（希望者）		実技カリキュラム	

学習目標

色彩論Ⅰの内容から、さらに色彩の知識を深めていきます。配色の応用方法と活用のしかた、UC（色のユニバーサルデザイン）など、色の捉えられ方や、調和論を活用した表現の取り組みを行います。

予習・準備物

色彩論Ⅰの内容の復習。課題作製に必要なもの。

注意事項

課題内容と提出日を確認してください。日程は前後したり変更する場合があります。

評価方法

課題内容に沿った課題製作ができているか。期限内に提出すること。課題を丁寧に作成しているかを重視。

撮影技法

担当教員 黒川芳信、岡山拓史

受講アトリエ【 】修得単位：1単位

2020/6/10(水)-2020/9/23(水)

9：30-12：40 13：30-16：30

授業内容

映像表現の一つの基礎である写真を学び、動画制作につなげます。課題は、豊島区広報課をクライアントに、豊島区に取材した動画作品を制作します。撮影技法に始まり、企画立案、調査、ロケーションハンティング、シナリオ制作、絵コンテ制作、撮影、編集を経て作品を完成させます。完成した作品は、豊島区のケーブルテレビで放送の予定です。

授業スケジュール/計画授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業	自宅課題
2	6月10日	水		色彩論	○	オリエンテーション	
3	6月17日	水		色彩論	○	カメラワーク1	
4	6月24日	水		色彩論	○	カメラワーク2	
5	7月1日	水		色彩論	○	カメラワーク3	
6	7月8日	水		色彩論	○	企画	
7	7月15日	水		色彩論	○	企画プレゼンテーション	
8	7月22日	水		色彩論	○	撮影	
9	7月29日	水		色彩論	○	撮影	
10	8月5日	水		色彩論	○	撮影・編集	
11	8月12日	水		色彩論	○	編集	
12	9月1日	火		制作		メディアブランディング基礎	
13	9月2日	水		色彩論	○	編集	
14	9月8日	火		制作		メディアブランディング基礎	
15	9月9日	水		色彩論	○	編集・MA	
16	9月15日	火		制作		メディアブランディング基礎	
17	9月16日	水		色彩論	○	試写・プレゼンテーション	
18	9月23日	水		色彩論	○	講評	

学習目標

写真＝レンズによる描写の基本を学ぶ。動画という表現の構成を学ぶ。調査した情報を視聴者にとって興味のある有益な情報に変容させるかを学ぶ。自らの企画をプレゼンテーションし、他者に企画意図を伝えることを学ぶ。出来上がった作品についてプレゼンテーションし、企画意図などを伝えることを学ぶ。

予習・準備物

たくさん映画を見ること。写真を見ること。準備物：ノート、スケッチブック、筆記用具。

注意事項

授業は途中から豊島区広報課との連携になり、社会的なものとなります。欠席、遅刻はしないように。

評価方法

作品内容50パーセント。作品への取り組み方（授業態度）50パーセント。

コミック表現1

担当教員 YASCORN(ヤスコーン)

受講アトリエ [] 修得単位：2単位

2020/6/11(木)-2020/9/24(木)

13:30-16:30

授業内容

社会に出てすぐ通じるような自己表現方法を身に付けるべく講師が経験してきた仕事等を紹介しつつ、コミックの手法で実技制作、講評を行なう。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業	自己紹介4コマ漫画
2					○	リモート授業	自己紹介4コマ漫画
3	6月11日	木		映像制作	○	作品紹介、課題4コマ指導	今までの作品持参
4	6月18日	木		映像制作	○	課題4コマ完成&提出、講評	採点
5	6月25日	木		映像制作	○	LINEスタンプ作り(発想法・キャラ・世界観)	
6	7月2日	木		映像制作	○	LINEスタンプ作り(40個アイデア出し)	
7	7月9日	木		映像制作	○	LINEスタンプ作り(40個作画)	
8	7月16日	木		映像制作	○	LINEスタンプ作り(提出・申請)	採点
9	7月23日	木		映像制作	○	ストーリー漫画・エッセイ漫画(アイデア)	
10	7月30日	木		映像制作	○	キャラ・世界観・ストーリー作成	
11	8月6日	木		映像制作	○	ネーム作成	
12	8月13日	木		映像制作	○	ネーム最終チェック	
13	9月3日	木		映像制作	○	漫画原稿チェック、修正	
14	9月10日	木		映像制作	○	漫画原稿提出・講評	採点
15	9月17日	木		映像制作	○	個別指導、アイデアスケッチ、似顔絵	
16	9月24日	木		映像制作	○	個別指導、出版社別アドバイスなど	

学習目標

実践力を伴うコミック表現とは。紙、デジタルほか、自分に合う表現方法を見つけます。

予習・準備物

筆記用具一式、コミック描画に使用する画材、A4サイズ用紙(コピー用紙)

注意事項

漫画原稿の仕上げは夏休み中の課題にします。また、タイミングの合うコンテストがあれば提出します。

評価方法

提出課題による採点

VR(先端メディア アート&デザイン)

担当教員 八幡純和

受講アトリエ [] 修得単位：1単位

2020/6/12 (金)-2020/9/11(金)

9：30-12：40

授業内容

VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月12日	金	○	オリエンテーション/VRの概要		描写イラストA	
2	6月19日	金	○	STYLY基礎		描写イラストA	
3	6月26日	金	○	Unity基礎		描写イラストA	
4	7月3日	金	○	Unity基礎		描写イラストA	
5	7月10日	金	○	Unity応用		描写イラストA	
6	7月17日	金	○	Unity応用		描写イラストA	
7	7月24日	金	○	Unity応用		描写イラストB	
8	7月31日	金	○	Unity応用		描写イラストB	
9	8月7日	金	○	作品制作		描写イラストB	
10	8月14日	金	○	作品制作		描写イラストB	
11	9月4日	金	○	作品制作		描写イラストB	
12	9月11日	金	○	講評		描写イラストB	

学習目標

ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。

予習・準備物

- ・ STYLY (<https://styly.cc>) のアカウント作成と、可能であれば軽く触れておく。
- ・ Unityアカウント (Unity ID) の作成 (<https://unity.com/ja>の右上ボタンより)

注意事項

※時期が合えばコンペティションへ出品するので著作権などに気をつけてください。

評価方法

提出課題による採点

描写イラストレーションA

担当教員 関根秀星

受講アトリエ [] 修得単位：1単位

2020/6/12(金)-2020/7/17(金)

13：30-16：30

授業内容

鉛筆を用いてモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての高い完成度をを目指す。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1					○	リモート授業	自宅課題
2					○	リモート授業	自宅課題
3	6月12日	金		専攻カリキュラム	○	講評（自宅課題①②）	
4	6月19日	金		専攻カリキュラム	○	制作	
5	6月26日	金		専攻カリキュラム	○	制作・講評	
6	7月3日	金		専攻カリキュラム	○	制作	
7	7月10日	金		専攻カリキュラム	○	制作	
8	7月17日	金		専攻カリキュラム	○	制作・講評	

学習目標

モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。

予習・準備物

・デッサン用具一式 ・これまでの課題制作物、自主制作作品

注意事項

評価方法

制作態度、提出課題による採点

映像ワークショップ

担当教員 三田村光土里

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2020/6/13(土)-2020/8/15(土)

13：30-16：30

授業内容

フォト・ストーリーをつくろう

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月13日	土		日本語能力試験/フランス語	○	オリエンテーション	
2	6月20日	土		日本語能力試験/フランス語	○	制作チェック	
3	6月27日	土		日本語能力試験/フランス語		制作	
4	7月4日	土		日本語能力試験/フランス語	○	制作チェック	
5	7月11日	土		フランス語	○	制作チェック	
6	7月18日	土		合同講評会ガイダンス/フランス語		制作	
7	7月25日	土		フランス語	○	制作チェック	
8	8月1日	土		フランス語	○	制作チェック	
9	8月8日	土		フランス語		制作	
10	8月15日	土		フランス語	○	講評	

学習目標

現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標としているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。

予習・準備物

授業内で指示。デジタルカメラ（スマホ搭載機能でも可）

注意事項

グループ学習なので、出席とメンバーとのコミュニケーションに心がける。

評価方法

提出物・授業態度で総合的に判断

描写イラストレーションB

担当教員 須田浩介

受講アトリエ [] 修得単位：1単位

2020/7/24(金)-2020/9/25(金)

13：30-16：30

授業内容

水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	7月24日	金		イラスト個性と表現	○	オリエンテーション	リモートの場合zoom
2	7月31日	金		イラスト個性と表現	○	モチーフを見て描く	リモートの場合メール
3	8月7日	金		イラスト個性と表現	○	制作	リモートの場合メール
4	8月14日	金		イラスト個性と表現	○	中間講評	リモートの場合zoom か、メールとオンデマ ンドの併用
5	9月4日	金		イラスト個性と表現	○	コラージュしたモチーフを描く	リモートの場合メール
6	9月11日	金		イラスト個性と表現	○	制作	リモートの場合メール
7	9月18日	金		イラスト個性と表現/後期ガイダンス	○	制作	リモートの場合メール
8	9月25日	金		イラスト個性と表現	○	講評	リモートの場合zoom か、メールとオンデマ ンドの併用

学習目標

対象物をよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。

予習・準備物

B4木パネル、シリウス八つ切り、筆洗、パレット、筆各自使いやすいもの、アクリルガッシュ12色以上。準備物については改めて初日に説明します。※リモート授業になった場合の支持体は水張りではなくB4サイズイラストボード(コットマン細目などの水彩紙)に変更

注意事項

遅刻欠席のない様にし期日までに作品を仕上げる。

評価方法

提出課題による採点